

JAPAN NOW

観光情報協会

Non-Profit Organization JAPAN NOW TOURISM INFORMATION ASSOCIATION

東京都知事が認証した「都市・環境・観光NPO」が発信する隔月刊情報紙

第59号 発行日2008年9月25日

Contents

金沢でシンポジウム	1
金沢シンポの内容(須田、山崎、陰山氏)	2
金沢シンポ第一部、白澤氏の講演	3
霞が関(清水氏対談、ニュースあれこれ)	4
観光人国記(小松市長、辻のや若女将)	5
世界遺産物語、立教支部報告	6
鐵楽者3人展(機関車展)などー杉理事	7
城下町と観光(萩)、NEWS POT(慶応)	8
観光立国と私の提言、COLUMN	9
美味しい話、旅情報	10
MPOの提言(観光の誤用)、イタリア通信	11
お天気の話(雲)、編集後記	12



石川県小松市名物の「曳山八基曳揃え」。240年余の伝統を誇る曳山が八基揃うこの絵巻は、平成2年(1990年)市制50周年を記念して始まった。240年前に奉納神事としてスタートした「子供歌舞伎」が、その曳山を舞台として上演される。演目は、小松の名所「安宅の関」での義経、弁慶、富樫を題材にした『勳進帳』などである。

巻頭言

北陸新幹線による金沢の経済効果は JN協会と郷土発展振興会が金沢でシンポ

JAPAN NOW観光情報協会(松尾道彦理事長)と郷土発展振興会(加藤愛恵会長)は9月11日、金沢市のホテル金沢で「北陸新幹線による金沢の経済効果」を総合テーマにシンポジウムを開いた。

松尾理事長、魚住JN協会北陸支部長の主催者挨拶のあと、新木北陸経済連合会会長(北陸電力会長=写真)が来賓挨拶。



シンポジウムでは第1部「食・心・動三育による住みよいまち創り」というテーマで、細川悟北陸LPGハイブリッド車普及促進協会理事長、加藤郷土発展振興会会長が講演した。

第2部「魅力ある北陸のまちづくりと観光振興策」では須田寛JR東海相談役が「北陸の観光振興」、山崎政俊北陸新幹線第2建設局長が「北陸新幹線の建設と開業の見通し」について講演し、北陸新幹線の開業によって首都圏と金沢は約2時間30分で結ばれ、経済効果は大きいと指摘された。約170人が参加した。午後6時から懇親会が開かれ、この

会場で昨年「瑞宝重光章」を受章した松尾理事長の叙勲記念の会が行われた。

須田氏から「産業観光100選」が無料進呈された。(講演内容は2、3面に掲載)



「国際観光・港湾都市 神戸の魅力」 10月に「観光立国フォーラムin神戸」 JN協会、海事センターが神戸で開催

JN協会は、財団法人日本海事センター(松尾会長)との共催により、10月3日午後2時から神戸市の神戸商工会議所大ホールで第4回「観光・海事立国フォーラムin神戸2008」を開く。当日は矢田立郎神戸市長、田中護史神戸監理部長の来賓挨拶のあとフォーラムに移り、国土交通省の須野原港湾局長が「国際港湾都市・神戸の発展策」、JR東海の須田相談役が「国際観光都市・神戸の活性化」、郵船クルーズの幡野専務が「クルーズの魅力」について講演する。

フォーラムのあと講師を囲んで懇親会を開く。このフォーラムは国土交通省が後援する。「産業観光100選」を無料進呈する。約200人が参加する予定。

北陸の「新しい観光」を目指そう

須田寛・JR東海相談役（JN中部支部長）

須田氏（写真左）はまず、東海道新幹線など、既設の新幹線がもたらした経済効果、なかでも駅周辺の開発による地域活性化の効果と観光客の増加を数字を示して説明。平成26年度末に金沢まで延伸される北陸新幹線についても、同じようなことが期待できる、と述べた。



ただし、その前提として地域住民、自治体、観光関係者が「新しい観光」という観点で、お客を迎え入れる工夫をしなく手はならないという点を強調した。

具体的には、まず交通、宿泊施設など観光産業に携わる関係者が“効率化”に取り組み、いいサービスを安く提供することを重点的に検討していく。つぎに、北陸地方には豊かな自然、温泉、美味しい食材、神社仏閣などの歴史遺産があり、観光資源の宝庫ともいえるが、それだけに頼ってはいは「リピーターを引き付けられず、今の伸び悩み状況を打開できない」とも指摘した。

須田氏は、10数年前から産業観光やテーマ別観光の重要性を指摘し続けているが、「新幹線延伸を機に、北陸地方も既存の観光資源をベースにしながらも、たとえば旧街道を辿りながら歴史的な視点で建物や旧跡を觀てもらおうとか、ホタルイカ漁を海上で近くから見るような類の新しい観光のスタイルを開発することが必要です」「これからは、一度来たら終わりということではなく、何度も来ていただけるような工夫が大切なのです」とも述べています。

「外国人のお客を増やすことも重要でしょう。外国人は、われわれが気がつかないような点に興味を持つこともあります。ある雑誌で読んだのですが、土葬が主体だった韓国の方は、日本の火葬場を見たいと言うそうです。中国の方は、漢字の表記に目を向けると言います。例えば大阪の心齋橋や東京の銀座は、縁起がいいと喜ぶますが、大阪・難波や東京の六本木は、好まないそうです。私たちが気がつかない所に、ヒントがあるのです」。

新幹線が来ると、間違いなく来訪者は増えるが、逆に日帰り圏となって宿泊客が減る恐れもある。だから、「訪れれば、泊まりたくなるような仕掛けを考えましょう。岡山の例ですが、昭和47年に山陽新幹線が開通して、お客が激増しました。日帰り客はわずかしが増えませんでした。近辺での泊まり客が大幅に増えたのです。新幹線開通に先立って、県が主体となり観光シフトを敷き、倉敷、後樂園、鷲羽山、瀬戸内海などを含めた観光ゾーンを作ったのです」。

「金沢も、ぜひ参考にしてください」。

北陸新幹線は地域振興の大戦力

山崎政俊・北陸新幹線第二建設局長

山崎氏（写真右）は、独立行政法人「鉄道建設・運輸施設整備支援機構（旧鉄道建設公団）の鉄道建設本部で、北陸新幹線の建設を担当している責任者の一人。

新幹線の金沢までの延伸は平成26年度末、あと6年半後である。金沢地区ですでに線路を敷くまで工事が進んでいるため、遅れているようにみえるが、途中の工事に時間がかかるためだとしている。

一つは、雪などによる川の増水で鉄橋工事が年間の半分しかできないこと、富山駅を高架駅にし現在の北陸線を移動させ、そのあとに新幹線を通すという複雑な工事が残されているためだという。しかし山崎局長は「26年度末完成に関しては、問題はないと考える」という。

完成した暁には、東京から金沢までの必要時間は2時間半となり、乗り継ぎを含めた現在の4時間弱から大幅に短縮される。石川県の予測によると、首都圏からの入り込み客は現在の年間60万人から91万人へと5割方増え、経済効果も68億円から121億円へと大幅アップとなる見通し。

雪が多い北陸なので、雪害対策には万全を期しているし、騒音対策にも十分配慮しているという。また長野 金沢間にできる6つの駅、鉄橋は美的にも工夫を凝らし、北陸の美しい景色に溶け込むようなものになるはず、という。

将来的には、北陸新幹線の金沢以西、大阪までの貫通が望ましい、と強調。つまり北陸新幹線の大阪までの沿線人口は4085万人であり、東海道新幹線の4737万人に迫る。東海道新幹線沿線の各都市の発展ぶりを見ると、北陸地方の振興を促進するには、大阪までの全線開通が不可欠、というわけだ。また、東海道新幹線と北陸新幹線が山手線のようなループ状につながれば、相乗効果を生むとも考えられる。

医療は武士道とみつけたり

陰山泰成・高輪クリニック理事長

日本人の遺伝子には、武士道の精神が刻み込まれています。仁・義・勇・誠・礼・名誉・忠誠心の7つの柱です。私どもの病院では、この精神を医療に持ち込み「和合医療」と言って、皆で研鑽を重ねています。私は、「病院のディズニーランド化を目指す」とも言っています。病院が、辛いところであってはならないのです。

日本の医療は、西洋哲学を映した西洋医学が主流ですが、私のところでは東洋哲学（武士道）を取り入れ、共生を目指しています。それで、天寿を全うできるような健康作りを進め、ひいては地域の活性化につながれば幸いです。

(金沢フォーラム第一部から)

地球に優しい「LPGハイブリッド車」を！

細川悟・北陸LPGハイブリッド車普及促進協会理事長

ガソリンと電池で走るハイブリッド車が、ガソリン高騰と排気ガス対策で脚光を浴びています。私が開発したのは、電池の代わりにLPGを使うハイブリッド車です。平成17年(2005年)のことでしたが、このほど経済産業省の正式認定を受けました。

ここで、NHKが「北陸からの挑戦」と題した特集で紹介したビデオを上映。

この方式の原理は、車にLPGタンクを積み電子制御システムでLPGとガソリンを使い分けるといふものです。LPGだけを燃料に使う車はありますが、冬のエンジンの掛かりにくいという難点がありました。そこで始動時にはガソリンを使い、安定走行になったら電子制御でLPGに切り替えるのです。

LPGは、ガソリンに比べ安いので、キロ当たりの燃料費は大幅に安くなります。ガソリン車がキロ当たり18円、LPGハイブリッド8円と各段と安い。例えば年間3万キロ走るとすれば20万円の節約で、5年間で100万円安くなるので、改装費に40~50万円かかりますが、個人タクシーや会社の営業車などに需要が増えています。

もう一つ、環境汚染につながる有害な排気ガスが減ることです。窒素化合物で8割減りCOは2割カットとなります。LPGが低公害だからで、環境に優しい車、と言えるでしょう。

LPGスタンドが少ないこと、走行キロが少ない個人にとって改装費がかかる、などの問題は残りますが、今後LPGハイブリッド車が大きく伸びることを確信しています。

左側が
細川氏



右側、
加藤会長

食・心・動の三育で地域活性化を！

加藤愛恵・郷土発展振興会会長

高齢社会では「寝込ませない、ボケさせない」ことが大切です。私は、数十年にわたって運動選手や企業の幹部など対象に、生活指導をしてきました。その基本は、正しい食事を取り、安定した精神状態(心)を保ち、ちゃんとした運動を心がけることです。私は“三育”と言っています。

ここで加藤会長は「ワハッハッハと心から笑いましょう」とか「正しい立ち方を覚えましよう」と、聴衆を立たせて実演させたりした。また「眠る前には、その日の悔いは一切残さず、心を無にして寝ましよう」とも語りかけていた。

「賢い新聞の読み方・テレビの見方」

JN協会の白澤事務局長が金沢で講演

JN協会の白澤照雄副理事長兼事務局長は、8月8日金沢市の郷土発展振興会(加藤愛恵会長)で「賢い新聞の読み方・テレビの見方」をテーマに約1時間15分間講演し、約50人が参加した。

講演のあらまきは次の通り。

プリントメディアとして記録性、閲読性に特徴がある「新聞の見方」では、まず全国紙、ブロック紙、地方紙の区分を説明し、日本は教育程度が高く、統一民族のため新聞の発行部数は世界的にみて多い。大手通信社は共同と時事通信で、ほかにAP・ロイター通信など外国の通信社の東京支社がある。

新聞社には編集局、広告局、事業局、印刷局、販売局などがあり、このうち編集局には政治・経済・社会・外報・科学・文化・地方部などが社会の出来事取材し報道している。整理部は政治・経済・社会部などの記者が取材してまとめた原稿に見出しをつけ、割り付けて紙面を読みやすく編集する部門。原稿の執筆や紙面の編集はすべてコンピューターで行われる。

金沢で購読できる日刊紙は北国、北陸中日、朝日、読売、毎日、日経新聞など。

最近の新聞は紙面のページ数が多い。この中から生活や仕事に必要な記事や各人がライフワークとしている分野の記事に手際良く目を通し、必要な部分だけ頭に入れることが大切。必要な記事は切り抜いて、分野別にスクラップをつくって保存すること。新聞を読む場合はその新聞の特色、政治的な偏り方を頭に入れて読む。世論調査や社説は特に注意する。不確かな新聞情報に惑わされないようにする。例えば「政府は経済政策を固めた」とか「方針を明らかにした」といった表現の記事は注意すること。また、「社会の公器」の名のもとで人権を傷つける「ペンの暴力」がたびたび起こっているが、訂正記事を載せることは少ない。新聞にそんな特権はない。

電子メディアとして速報性や臨場感に特徴にあるテレビには、NHKと民間放送があり、NHKは視聴者が払う料金をもとに番組を制作して放送。TVチャンネル数が多く、ラジオ局数も多い。民放はCM収入で番組を放送し、大手民放は東京キー局といわれ、系列の地方局と全国ネットを形成している。新聞社系列が多い。地方局は各県に複数ある。

NHKのニュース、スポーツ番組は客観的で事実関係を放送し、判断は視聴者に任せているが、民放のニュース番組は芸能番組的な要素が強く、相手を傷つける傾向がある。こうした特徴を頭に入れてテレビと接触することが大切だ。

東京 霞が関発の最新情報 国土交通省・総務省・財務省

観光立国を支える人たち

立教大で観光人材を育てる

ジェイティビー（JTB）常務取締役
清水慎一（しみず・しんいち）氏

地域づくりを熱心に進めていると聞いてます。具体的にどのような活動をしてきましたか？

仙台の支社長に行って市町村を回ったところ地域に元気がないことに気がきました。これでは鉄道のお客さんが増えません。観光と私用の客を増やすために考えました。観光を基本にして地域に元気になってもらわなければいけない、と客の動向やニーズを調べました。その結果、訪れてよい地域になっていないことに気がきました。団体旅行などマスを対象にしてこれからの展開を考えていない。訪れなくなる街、価値のある街、その地域ならではの街になっていない。2003年に小泉総理が観光立国を宣言して木村尚三郎・東大名誉教授(故人)が「住んでよし訪れて良しの国づくり」と言いましたが、そのためには地域の人材を育てなくてはならないと気がきました。

そのために何をしていますか？

人材育成のために08年4月から立教大学観光学部特任教授になり、若い生徒を教えています。若い人は素直であり、言われたことには反応します。きちんと問題点、課題、地域づくりについて何かを伝えなくてはならないと痛感しています。三菱商事から津軽鉄道の社長になった澤田長二郎さんのこと(コロンブス8月号参照)や新潟県・村上市の観光地として成功した話をします。行ってみたい、お手伝いをしたいという反応が出てます。村上市は観光と縁もゆかりもなかった商店街の吉川真嗣君がアーケードを作って近代化した街を活性化させた。古い町家が残っていたところに「村上町屋商人会」を作り、これを復旧して見せるようになった。そうしたところ観光客が来るようになった。昔からあるものを大切にすることで街が活性化しました。その地域の歴史と文化を大切にするという典型的なケースですね。

ファシリテーターという役割が大切だと思いますが、どんな事をするのですか？

煽(あお)ぎたてる人という意味ですかね。コーディネーターでもない。そこに住んでいるわけではなく、若い人たちのやることを応援する役目です。地域の長老と衝突した時に若者の味方になる、ということなんです。

二地域居住ということ唱えています。観光振興とどう結びつきますか？

街に住んで地方にある空き家や古民家を借りて週末などはそこにすむという生活を提唱しています。私も長野県に山小屋を持っているので週末にはそこで生活します。こうした生活をするので地方の活性化に結び付けられれば良いと思います。空き家や古民家を不動産としてどう評価してゆくか、情報提供をどうするかなどの問題はありますが、これからの観光振興の一つでしょうね。(阿部和義記)

(清水氏のプロフィール)

長野県小諸市生まれ。72年3月東大法学部卒。日本国有鉄道に入社、87年JR東日本に移行し営業部企画課長。東日本キョスク専務(出向)の後、JR東日本取締役営業部長、取締役仙台支社長。04年6月にJTB常務。59歳。

ミュシュランが日本の観光地を格付け

フランスのタイヤメーカーのミュシュランが日本の主要な観光地を「三つ星」から「星なし」で格付けして、詳細な解説を載せた本格的な観光ガイド(フランス語)を来春に発売する。同社のガイドには2種類あり今回出すのは本格的な「ギド・ベール」である。アジアではタイに続き2カ国目。

チボリ公園が閉鎖確定

岡山県の「倉敷チボリ公園」を運営する第三セクターの「チボリ・ジャパン」の株主総会が8月26日にあり、12月末で同社の解散が決まった。97年に開園して10年余りで閉鎖する。

景観保存と危機管理に対応した街区に

今後の霞が関地区の整備・活用で答申

社会資本整備審議会の建築分科会(部会長・村上周三建築研究所理事長)はこのほど「今後の霞が関地区の整備・活用のあり方について」答申をまとめ国土交通省に提出した。中央官庁が集まる東京・霞が関地区は、昭和51年の建築審議会答申に基づき整備してきたが、最近では国有財産の有効活用、都市景観の保全、地震、台風など危機管理への意識の高まりから霞が関地区の整備・活用策を検討した。

答申では良好な都市景観の形成、危機管理に対応した活用、環境保全を考慮した活用について具体策を示している。例えば建物の高さの輪郭線や壁面線は建物相互の関連や皇居、国会議事堂との関連を配慮して調和のとれたものとする。緑の更なる確保を進め、歩行空間や緑の連続性を考慮する。

危機管理に対応した活用策では首都直下型地震への対応やテロなど重大事件を想定した業務継続体制の確保に取り組む。また、環境対策では霞が関地区の個々の建物としての対策に加え、二酸化炭素の削減やヒートアイランド(人工熱汚染)の緩和のモデルとなる官庁街の形成を進める。

観・光・人・国・記

小松空港と北陸新幹線で観光振興を！
住みよく楽しい街づくり目指す小松市

西村 徹（にしむら・とおる）氏
1939年生まれ、石川県立小松高校卒業後、石川県庁に入り土木部監理課長、農林水産部次長などを歴任、1992年小松市助役。1994年石川県農林水産部長。1997年4月、小松市長に当選。現在3期目。

小松市はかつて繊維の街だったが、日本経済の発展、産業構造の変化につれて、『コマツ』（小松製作所）の企業城下町の様相が深まった。しかし『コマツ』が世界有数の建機メーカーになるに伴い海外戦略が強化されている現状である。

「依然コマツの存在は大きいのですが、さらに企業誘致を進めなくてはならないと考えています。そのためには、教育と文化の振興が欠かせないと思いい、まずは子育て支援に取り組んでいます」と西村市長。小松市の人口は、石川県で3番目の約11万人だが、今後増えることは期待薄。そこで交流人口の拡大が課題となってくる。「教育・文化都市を実現できれば、住みよい街になり、ひいては外から人が訪れてくれるはず」と、長期的視野に基づく観光振興を訴える。まさに王道であろう。

とはいえ、短期的な振興策も重視しなくてはなるまい。そこで西村市長が取り組んでいるのが、まずは小松空港の活用である。いま航空自衛隊と共用しており、毎年9月に小松基地で開かれる「航空祭」には、県外からもお客がやってくる。今年も市の人口を上回る12万人が押し寄せた。空港活用策の、もう一つの柱は国際空港化。好調な台湾、上海、ソウルとの定期便に加え、タイとの航空路開設を目指して作業を進めている。問題は、上海便など日本人客が全体の80%を占めていることが挙げられる。

「もっと中国からのお客を誘致しなくてはなりません。この9月5日、中国山東省・済寧市と姉妹都市になりました。中国の人は温泉が好きなので、当市にある粟津温泉はじめ、それぞれ異なった泉質を持つ近隣の温泉地を含め、温泉情報の発信を強めなくては、と思っています」と西村市長。「次に期待しているのが、北陸新幹線の延伸です。金沢までは平成26年度末には開通しますので、2~3年後には小松市にもコダマ級が止まる新幹線駅ができるはず。近隣の市町村と連携し、観光・滞在客を増やす工夫を、いまから始めなければと考えています」。

『コマツ』の街で有名な小松市には、観光資源も十分ある。市長は言う「歌舞伎・勸進帳で知られる安宅の関や、“無残やな 兜の下の キリギリス”を

はじめ芭蕉の足跡もあります。真言宗の別格本山『那谷寺』の奇岩、紅葉は絶景ですよ。木場湯から見る日本3名山の一つ白山の雄大な姿も必見もの。また5月の『お旅まつり』で披露される子供歌舞伎は、240年余の歴史があり、最近では全国から参加するフェスティバルになっています」と、立て板に水の如きPRだった。（加納）

2万5000坪の庭が自慢

粟津温泉『辻のや 花乃庄』美人若女将

小松市湯上町にある『庭園の宿 辻のや 花乃庄』の若女将・辻井祐紀恵さん（写真）。「うちの売りは、美肌の湯として知られる幾つかの浴場とともに、25000坪の庭です。27ホールのパターゴルフ場、2面のテニスコート、25℃プールがあり、運動したあとの温泉は疲れを癒します。また春には、裏山全体が満開の桜で染まります」と、柔らかい加賀弁で宿自慢をなさる。



創業は昭和31年だから、日本最古ともいわれる粟津温泉では、“新参者”かも知れない。しかし先代の辻井武夫さん（2年前死去）が、一代で育てたこの宿と庭は近隣にないスケールを誇っている。

季節や内容によっても違ってくるが、平日だと二人で3万6千円程度というから、まずまずだろう。

近くにある姉妹館『露天の湯 金閣』は、1泊1万2千円からとリーズナブルな価格設定で、人数にもよるが予算に合わせ1万円でも可能とか。老人クラブにも人気がある。どちらかに泊まれば、姉妹館のお湯にもトライできるというのも嬉しい。

宿の食事は、言うまでもなく日本海の新鮮な魚や季節の山菜、加賀野菜をたっぷり使っており「皆さん、満足して下さいますよ」と若女将。冬場はズワイガニ、ブリが堪能できるというが、「昨年からズワイを“加能ガニ”と呼ぶようになりましたのは、いま一つピンときませんね」とか。確かに、松葉ガニとか越前ガニというネーミングと比べると、ご説ごもっとも、の感も。

「趣味とか、公職は？」とお聞きすると「先代は温泉協会でも大きな役を引き受けていましたが、私も父の後を引き継いで様々な役職をお受けしたり、3人の子育てにも追われていたこともあって、ほとんど仕事一筋ですよ」とおっしゃる。昔習っていたという太鼓も、しばらくはお休み状態とか。

粟津温泉も廃業する宿があり、宿泊客も増えていないのが実情のよう。この際、祐紀恵さんのような美貌の若女将連が、積極的に関東や関西に出かけて行き加賀温泉郷のPRをなされれば、相当な吸引力があるのでは、と思った次第。（加納）

923-0332 石川県小松市湯上町118
庭園の宿 辻のや 花乃庄（電話0761 - 65 - 1311）

「世界遺産」物語・・・

スイス・レーティッシュ鉄道

近藤 節夫

鉄道王国スイスでも長い歴史と伝統を誇る山岳鉄道、レーティッシュ鉄道は、その可愛らしい真っ赤な車体と車窓風景の美しさから世界中の鉄道ファンの垂涎的となっている。とりわけ、スイス・アルプスの山岳美を車窓からふんだんに見せてくれるのは、サンモリッツとイタリアのティラノを結ぶベルニナ線である。

昭和54年（1979年）6月、このレーティッシュ鉄道と、日本の箱根登山鉄道が姉妹鉄道契約を締結した。縁あってこの契約に多少関わったことにより、その夏日本から派遣された姉妹鉄道締結記念ツアーにお伴する機会に恵まれた。始発地のティラノや、終点のサンモリッツでは、現地の観光協会から心温まる歓迎を受け、一行はサンモリッツ周辺の山々へロープウェイで案内されてスイス・アルプスの絶景を欲しい俛にし、チーズフォンデュで歓待されたことを懐かしく思い出す。

そのベルニナ線には、13年後の1992年に今度はサンモリッツからイタリア側へ下って行った。サンモリッツ駅と最高標高（2,253m）駅オスピツィオ・ベルニナ駅に掲げられている日本語で書かれた「レーティッシュ鉄道・箱根登山鉄道姉妹鉄道締結記念」プレートを見て感慨に耽ったものである。このエポックメークな姉妹鉄道締結を記念して、現在箱根登山鉄道では「ベルニナ号」と称するレーティッシュ鉄道と同じ、レッド・カラーの電車を運行して乗客を楽しませてくれている。

僅か61kmの行程内に高度差1,800mの昇降を繰り返し、アルプス山塊を潜り抜け、目まぐるしく移り変わる左右の車窓からは雪山、森林、滝、氷河、湖水、牧草地等の大自然をたっぷり楽しむことができる。イタリア・ティラノ寄りのブルジオとカンパスチオ間の石造りのオープン・ループブリッジは鉄道ファンならずとも、カメラファンにとって格好の被写体として人気を集めている。列車もその辺りは心得ていて大きなカーブを描くとき、徐行しながらシャッターチャンスに余裕を持たせてくれる。景色を見せてくれるばかりでなく、窓を開け身体を外へ乗り出してカメラを駆使する時間もたっぷりとってくれる「おもてなし」の心は、やはり観光立国スイスらしいきめ細かな配慮であると感心する。

このレーティッシュ鉄道が、何と、この夏「世界遺産」に登録されたのである。ひとつの民間企業が事業活動している姿が世界遺産に登録されること自体、極めて珍しい。これは、とりもなおさず「大自然+世界遺産的風景」を誰でもが楽しめるように考え開発し、進んで提供したレーティッシュ鉄道先人たちの努力の結晶であろう。（右ページへ）



留学生との手作り夕食会

Nuggets of Hospitality 麓 理沙

7.1、立教大学国際センター主催で、留学生と



日本人学生の交流会が行われました。この会はベトナム人留学生と日本人学生がそれぞれ自国の料理を手作りし、会食しながら交流するというものです。

今回それぞれが用意したメニューは、ベトナム側が生春巻、きゅうりのサラダ、豚肉のスープ、日本側からは私たちNuggetsが主体となって手巻き寿司と細巻き、白玉アイスをつくりました。

ベトナム料理には馴染みのある人も多く、特に生春巻きは大人気で、あっという間になくなってしまいました。サラダ、スープは初めて見るという人が大半でしたが、こちらもおいしい！と好評でした。手巻き寿司はたまご、ハム、納豆、かんぴょうなど様々な具を用意し、自分の好きなものを選んで巻くというスタイルをとったのです。これは日本人だけでなくベトナム人留学生たちにも好評で、皆いろんな具に挑戦し、思い思いの手巻き寿司を楽しんでいました。また、デザートに用意した白玉アイス（白玉、あんこ、バナナと抹茶のアイスの上にきなこ黒蜜をかけたもの）は大絶賛をいただきました。



当日は調理器具の準備や食材の下ごしらえから互いに手伝いあって行い、この日初対面だった学生同士も打ち解けることができ、とても良い雰囲気の中で交流することができました。調理中も互いの国の料理について教えあい、また即席でベトナム語講座が行われるなど、双方がお互いの国について、より理解を深めることにつながったのではないかと思います。

一緒になって料理をし、それを食べるということで相手の国や文化を知ることができます。今回のような夕食会は今後も続けていきたいと思えます。

おかげで、個人的な記録「世界遺産見学数」も、タナボタ式に今夏「141」箇所となり、目標の「150」へさらに一歩近づいた。

蒸気機関車写真展

08 鐵樂者三人展を終えて

杉 行夫

本年8月22日から9月7日まで、当初の予定を1週間延長した「蒸気機関車写真展」が終わった。成田「ゆめ牧場」の蒸気機関車の写真を撮りに来る、金澤 忠、野口信夫両君との写真展であった。

野口君は美術の先生で、彫刻が専門なので毎年展覧会を開催しており、昨年は今回開催した雑司が谷の「三愚舎ぎやらりー」で行った。今年はその展覧会に寄生虫のごとく参加させて貰ったのである。

三人の写真展だが、一人が一つの鉄道を様々な大きさの写真で表現する（岩波写真文庫や岩波新書「写真の読みかた」の作者・名取洋之助が提唱した「組み写真」の方式）ことにし、

金澤 「成田 ゆめ牧場 まきば線」

野口 「中国 綏棱（すいりん）森林鉄道」

杉 「九州 貝島炭鉱鉄道」を取り上げた。

「ゆめ牧場」と「綏棱森林鉄道」は今年または昨年撮影されたものだが、「貝島」は1960年代と40年近く前に撮ったものであった。当時の蒸気機関車運



写真展に出した九州・福岡の貝島炭鉱にあった鉄橋。下の線路は国鉄の運炭列車用の貨物専用線。このような複雑な線路情景が貝島の不思議な魅力であった。

行状況は、国鉄の蒸気機関車も全国で見ることが出来、さらに北海道の炭鉱鉄道には、国鉄から払い下げられたアメリカ製の古い蒸気機関車も運行されていた。そういったものに比べ、機関車・鉄道の魅力が一般受けせず、線路の敷設状況が解かりにくい「貝島」に魅力を感じ、訪れる人は少なかった。そして、「貝島」は1960年代半ばから徐々に廃線され、1976年には全廃された。従ってこの鉄道の全線

にわたる写真が発表されることは、ほとんど無かった。今回の写真展の前説には、「貝島」は1971年に出版された蒸気機関車写真集「鉄道讃歌」以来初めて世に出すと記された。

今回の写真展には、300名近くの方に来場して頂いた。興味を示して頂いた方の中には、会場に3時間以上滞在した方もいらした。また、夕方は毎晩宴会場と化した。そこで語り合った中から、私が仲間6人と出版した前記「鉄道讃歌」に影響を受けた人々の多さに改めて驚かされた。金澤・野口両君もそうであったが。

「鉄道讃歌」について少々説明すれば、国鉄に在籍する蒸気機関車が一切登場せず、我国についてはもっぱら炭鉱の専用線や、地方小鉄道の蒸気機関車が中心で、ようやく自由化された海外、台湾の「阿里山森林鉄道」やインドの「ダージリン・ヒマラヤ鉄道」を主題とした。インドの「ダージリン・ヒマラヤ鉄道」は、1999年、鉄道としては2番目の世界遺産に登録された。

新潮文庫「ロビンソン漂流記」について

杉 行夫

ダニエル・デフォー原作の冒険小説、「ロビンソン・クルーソー」の物語は、岩波少年文庫に所収されており、いかにも児童文学的認識がなされがちだが、新潮文庫では「ロビンソン漂流記」として、吉田健一訳で1951年5月発行されたものが今でも発売されている。底本は18世紀の英国の小説を覆刻したものの中では最も信憑するに足る、大仏次郎所蔵の原書を使ったという。

岩波少年文庫のこの物語の解説に、『もともと（この物語は）「児童文学」として書かれたものではありませんでしたが、フランスの啓蒙時代を代表する思想家ジャン＝ジャック・ルソーは、教育論として名高い「エミール」（1762年）のなかで、子どもにはじめて読ませたい書物こそ、この「ロビンソン・クルーソー」であると述べています。』とかかれており、この辺が児童文学と認識される理由であろうか。

作者デフォーは1660年ロンドン生まれ、1731年に亡くなっている。また、父親は肉屋などを営む商人で、「非国教徒」（英国が国家の宗教としていた、英国国教会に反対の立場をとる人々のこと）で、非国教徒のための学校で教育を受けたといわれる。

一方、ロビンソン・クルーソーは1632年ヨークに生まれたことになっており、無人島での生活は1680年頃のことではないかと思われる。出版は1719年である。

私が最も興味を覚えたのは、「ロビンソン漂流記」昭和46年11月30日 27刷本の269頁に「・・・若し彼等（ロビンソン・クルーソーが生活する無人島に連れてこられた反乱船のスペイン人船長たち）が私のお陰でここを脱出することが出来て、後でスペイン領アメリカに着いてから私を捕虜にするとしたら、これは余にもひど過ぎると言った。スペイン領アメリカに英国人が行けば、それがどのような理由によるにせよ、彼（英国人）がどんな目に会うか解かっていた。私は、異端審問所に連れて行かれて無慈悲な僧侶達の手に陥るよりは、野蛮人に食われた方がましだと言った。・・・」と書かれている点である。

英国がスペインの無敵艦隊に勝利したのは1570年のことである。この小説の時代の百年前にスペインは英国に敗れている。しかし、スペイン・ポルトガルのアフリカ西岸・南米での威勢は衰えず、スペイン領アメリカに連れて行かれれば、異端審問にかけられることを恐れていることに興味をおぼえた。英国が大西洋で大手を振って航海出来るようになるのは、1805年、トラファルガーの海戦でネルソン提督が死を賭して仏・西連合艦隊に勝利するまで待たねばならなかったのであろうか。

城下町と観光

山口県萩

日本海に面した毛利氏の萩城

松下村塾が伊藤博文ら維新の人物を生む

JN協会参与 長宗我部 友親

萩の城下は土堀と、そこから見え隠れするみかんが夕日に映えて美しい。静かな城下町である。



徳川時代に萩の藩主となったのは毛利氏だ。毛利輝元が徳川家康の許しを得て

築城を決めたのは指月山であり、『指月城』ともいう（写真）。ここは阿武川下流のデルタ地帯にあたる。

このため築城作業はまず埋め立てから始められ、ようやく慶長13年（1608年）に完成した。

天守閣は5層で、城は日本海に面しており、山上の詰め丸へは急斜面を登ってゆく格好になるなど、守りを強く意識した城構えになっている。

毛利氏は、毛利元就の時代に大内、陶、それに、出雲の尼子一族をも打ち破り、中国地方を中心に確固たる地位を築いた。元就は、さらに九州、四国にも派兵して、その勢力の拡大に努めていたが、元龜2年（1571年）に死去する。

NEW SPOT

慶應義塾150年

in japan

慶應義塾が創立150周年を迎え11月8日に記念式典を日吉キャンパスで開く。新設の教育施設「協生館」と、隣接する新装の陸上競技場に卒業生ら1万人が一堂に会し、三田・湘南・大阪会場でスクリーンに映写、ネットも生中継配信する。翌9日は、同窓会「連合三田会」に1万5千人が参加、2日間に東西で3万数千人が集う。

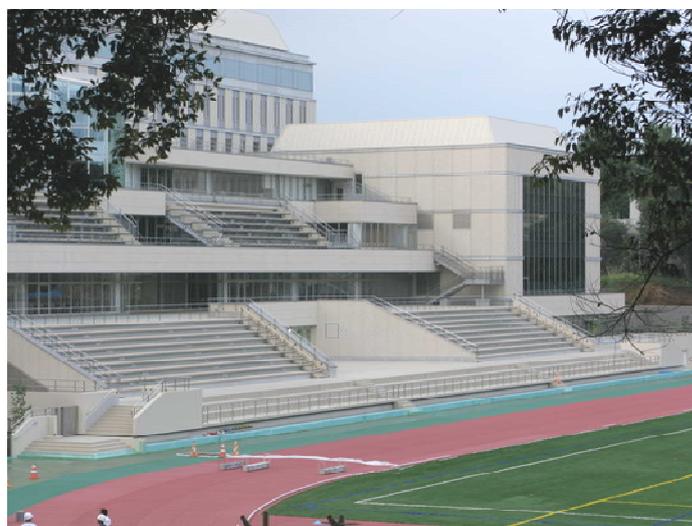
1858(安政5)年、江戸・築地鉄砲洲(現・明石町)に開塾、71年に三田へ移り、日吉は郊外キャンパスのはしりとして1934(昭和9)年に開いた。記念会場の協生館は、社会や地域と協力して生きる、その思いを込め、地域交流の教室・集会場、室内プールや民間スポーツクラブなど多彩だ。東急東横線、横浜メトロの日吉駅

関ヶ原の戦いのころは、毛利輝元の代で、輝元は不運にも大坂方につき、しかもその総大将に擁立させていた。自らは戦わずして帰城したが、その責めを負って、徳川家康に周防、長門のみに減封された。

この減封の厳しい措置が、「徳川憎し」の心を長州藩に植え付けた。そして、徳川政権打倒の心を江戸時代に持続させ、明治維新を実行する力となったともいえる。

萩で知られるのは、吉田松陰が徳川末期に開いた松下村塾だ。当初は8畳一間で始められ、門弟が増えて10畳半の間を増築した。松陰が教えた期間は短かったが、その間に高杉晋作、伊藤博文、山縣有朋らの人物を生んでいる。

松陰神社の中に、毛利重成が造った茶室の花月楼とともに、松下村塾は今も残されている。



陸上競技場を見渡す記念式典会場の「協生館」

下車徒歩1分に地上7階地下2階で今年8月竣工。

400mトラックの陸上競技場を前面に、観覧席にもなる階段状の外観は開放感に満ちあふれる。

記念事業は国際交流促進の「未来先導基金」創設や「福澤諭吉記念文明塾」開講、大学院研究科増設、ブラジルで法学医学の国際シンポジウム開催、もう1つの小中一貫校創設など。式典前日に80円記念切手が発行され、来年「未来をひらく福澤諭吉展」が東京・福岡・大阪で開かれる。

良きライバルの早稲田は昨年125周年を迎えた。伝統の野球やラグビーほか白熱した対抗戦が相次ぎ、この8月封切りの映画「ラストゲーム 最後の早慶戦」は戦時下の両学友好のエールを歴史に刻む。(写真・文 林 莊祐)

「観光立国と私の提言」

「観光コンサルティング目指せ」と社員へ
第一交通・田中亮一郎社長に聞く

JN会員 加藤和子

福岡県北九州市を本拠にタクシー事業を柱とし多角的な事業を展開する第一交通産業は、30都道府県で保有するタクシーは約7000台。営業する都道府県の数、保有台数、いずれも全国一であるという。

傘下のタクシー会社の多くは買収によって取得。すべて相手側から持ち掛けられた買収だという。景気の悪化、レンタカーの普及、規制の緩和と、タクシー会社をめぐる環境は決して甘くない。そうした中で、経営を拡大させることができた秘訣を尋ねると、田中社長（写真）は「客を『待つ』のではなく、客を『引き寄せ』る」タクシー運転手による『観光コンサルティング』だ」と強調した。



運転手さんに、「どっかいいところない？」と尋ねたことのある人は多いだろう。観光地の地元タクシーの運転手は、おいしいお店や観光スポットの本当の情報を持っている。しかしそうした情報が目に見えるものになることは少なかった。

第一交通は、そうした情報を集めて、ホテルに観光タクシーのルートマップを置いてもらったり、博多の屋台マップやラーメンマップ、パンフレットな

どを作り、お店で見ればチャージ1枚サービスしてもらえるようなクーポンも付けた。こうした地元の観光業界との連携を強めることによってリピーターを増やしてきたという。

3年前からは、こうして集めた情報をまとめて九州の特産物などをインターネットで販売する「逸品クラブ」も始めた。タクシーの運転手さんお勧めのおみやげ、大分県宇佐市の名物のエビせんべいなどを楽天市場で販売している。

外国人観光客が増える中で、携帯電話の三者通話機能を利用した通訳サービスもいち早く取り入れた。こうしたサービスは、あることを知らなかったり、「なんだか難しそうだ」と腰が引けて、利用が進んでいない。しかし外国人にとっては日本での滞在を楽しめるものにできるかどうかを決める非常に重要なサービスだといっても過言ではない。今は韓国語、中国語、英語の通訳サービスを1日24時間、携帯電話で利用できるという。

地理的に近い韓国からの観光客を一層増やすために、2年前から韓国人を採用して、韓国の旅行会社に対し日本の観光情報を提供し、個人旅行の営業を行っている。

田中社長は、タクシー会社の強みである地元密着の情報力を生かして、何かできないかと常に考えていると語る。情報は様々な主体が発信しているが、これを有効に利用するため、より一層、他業種との交流を深めていきたいと語った。

C O L U M N

象の頭脳と左前

「象」と言えば、黙っていてもあの愛嬌のある大きな動物を思い浮かべることができる。力強く愛らしく子どもたちにとっては、パンダと並んで最も人気のある動物のひとつである。ところが、人間だって「ウドの大木」とか、「大男総身に知恵が回りかね」と比喩的に言われるように、一般的に身体の大きい動物はつい頭脳の働きも鈍いと思われがちである。

それがどうしてどうして、この力持ちの象は人間の言うことが分るうえに働き者だから、屋外の大きな作業や力仕事の労働現場では、なくてはならぬ存在として、ビルマやタイの山間では労働力として随分重宝がられている。トラクターや大型機械などが入り込めないような森林地帯や山間部では、象の獅子奮迅の働きのなしには作業も進まない。

先日タイの東北部チェンマイで象による特異な芸術的特技がテレビで披露された。驚くなかれ、一頭の象が長い鼻で絵筆を揮い画用紙に、画家顔負けの一級品の自画像を描いたのである。それはショーとしても多くの観光客から賞賛と感動を呼んだ。しかも心憎いことに自画像に一輪の花まで描き添えたのだ。果たして象にこんな繊細な芸術的才能があるのかと半信半疑の気持ちにも駆られる。件の象は相変わらず絵筆を揮って、毎日1枚ずつひたすら絵を描き続け、今でも観光客を喜ばせているようだ。

ところで、象の木彫りでも、銀や錫からなるミニチュアでもよいから、置物としてひとつぐらいいご家庭にお持ちだろうか。それらのミニチュア象をとくと観察していただきたい。

きっと左の前足が一步前に踏み出ているはずである。普通象はどういうわけが決まって左足から踏み出すのである。だから、例えミニチュア品であっても彫り物師は、自然左足を踏み出した象を彫る。観光客も左足を踏み出している象を買い求める。かりに右足が一步前へ出ているミニチュア象があったら、残念ながらそれは象ではない？ それは象が凛々しい動作を開始する最初の瞬間ではなく、ただただ歩いている象だと納得した方がよい。左足が出るか、右が出るかによって、自ずから品格が違うのである。嘘だと思ったら、一度サファリへでも行ってみるか、自然動物園でも見学されたら分る。

(近藤)

お得な情報

「日本で見つけた 世界おいしい物語」

スリランカ料理 コートロッジ

スリランカは海洋国のため、新鮮な魚介類の料理が多いそうだが、日本では、やはりカレーなどスパシーなもので、インド料理と似ているような印象がある。しかしながら、ココナッツミルクでマイルドに仕上げるとか、鯉節に似たモルジブ・フィッシュの干物からだし汁をとるとか、きめ細かい味付けが特徴である。

新宿駅西口から甲州街道沿いに歩くと、老舗のスリランカ料理店、コートロッジがある。

ランチはAセットはロールゴダンバ。チキン、ビーフ、野菜のいずれかのカレーに焦げ目のついたパンケーキのようなゴダンバが付き、サラダ、デザート、飲み物で1,380円。Bセットはゴダンバロディで、ゴダンバに挽肉やじゃがいもなど、コロッケの中身のようなものが詰まっているもので、チリソースをかけて食べる。それにカレーセットである。

ウィークデーは、800円ほどでテイクアウトもある。夜は、地ビールのライオンビールと、つまみにガーリックシュリンプが売れ筋らしい。夜のセットメニューは2,000円から4,000円で、魚のコロッケが人気である。

この店のカレーは、ルーがスープのような味わいで、インドカレーよりはさっぱりしており、テーブルにあるチャツネを自分で混ぜて楽しむ。オーナーからコックまですべてスリランカ人で、食材は直輸入とのこと。カレーは11種類、チャイ(紅茶)も8種類ほどある。

東京都渋谷区代々木2-10-9 本間ビル1F

電話 03-3376-7733

営業時間はランチが11:00-ラストオーダー15:00。ディナーが17:00-23:00。年中無休で土日祝日は、11:00-23:00。

(大島 慎子)

日本唯一のホテル客室常備文化情報誌

JAPAN NOW

1985年の創刊以来、内外の多くのお客様にご愛読いただいた「JAPAN NOW」誌は、日英全文対訳で学校教材としてもますます高く評価されています。

4月に完成した2008-2009年度版は、日本全国のホテル110館、55,000室の客室に常備されています。



日本文化の再発見を通じて新たな観光資源を紹介し、現代日本を代表する執筆者やカメラマンたちによって生き生きと伝えることが、「JAPAN NOW」誌の編集方針です。2008-2009年度版は150年間にわたり日本の国際交流の窓口であり続けた横浜の過去と現在を紹介する「横浜150年」といまでも日常の生活とともにある神仏の世界を通じて日本人のこころ

のあり方にせまる「素顔の神々」という2つの特集を軸に構成されています。また、巻頭インタビューは、文学者の河野多恵子氏をはじめとしたバラエティあふれるラインアップとなりました。

1部2000円(送料別)で購入できます。お問い合わせは(株)ジャパン・ナウへ。電話・FAX 03-3536-1751

道の駅「富士吉田」

日本で生まれたなら日本一の富士山に一度は登ってみたいと思う人は多いようである。夏の富士登山はとても混んでいて、行列して登ると聞く。

そんな富士山は、眺めているだけでも満足である。この8月31日に本栖湖で10キロマラソンが開催された。世界25都市で同時に100万人走ろうという大イベントで、日本は1000円札に描かれている逆さ富士の本栖湖が選ばれた。筆者も走って見たが、水深138m、透明度は抜群。秘境を感じさせる自然をみながら快適に走れた。観光振興につなげたいと話していた開催地河口湖町だが、世界にPRされたことは確かである。

富士山のふもとと標高900メートルに位置し、富士山に最も近い道の駅が「富士吉田」(写真)。



2004年度関東道の駅スタンプラリーアンケートで第6位に選ばれている。

レストランでは歯ごたえの太麺「吉田のうどん」が味わえる。敷地内には水汲み場がある。この水は富士山に降った雨・雪が浄化され伏流水となったものを地下から汲み上げ、溶岩層によってろ過され多量のミネラル分を含み、特に「バナジウム」の含有量が高い天然水である。「富士の名水」として遠方から汲みに訪れる人も多いという。

他に道の駅エリア内には、体験学習施設として「富士山レーダードーム館」があり、日本の気象観測の象徴ともいえる富士山レーダーが35年の役割を終え、第二の人生を送っている。入館料、一般600円・小中学生400円。

営業時間、9時半～17時半。火曜日休館。

道の駅のアクセスは、中央自動車道河口湖ICから10分。富士急行富士吉田駅からバス「サンパーク富士下車3分」。電話：0555-21-1225

(堤るり)

【会員募集】

都市の再生、観光振興、環境保全の市民活動に賛同する会員を募集しています。

個人会員(1口5千円)、団体会員(1口5万円)

東京都渋谷区代々木1-58-13小田急代々木ビル3階

JAPANNOW観光情報協会(電話03-5304-9500)へご連絡ください。

会員の投稿を歓迎します

情報紙の充実を目指して!!

観光情報紙2008年11月号への個人、団体会員の投稿を歓迎します(400~500文字程度)。皆様のご意見を、どしどしお寄せ下さい。詳細は事務局まで。

発行は2008年11月25日。締め切りは11月15日。

NPOから提案します

誤用から始まった観光(1)

高崎経済大学観光政策学科教授 寺前 秀一

観光地の土産品を中心として偽装が国民的話題となったが、「観光」という用語そのものも誤用から始まっている。10月に観光庁が設置され、1930年の国際観光局設置以来の行政組織に関する出来事となるが、国際観光局は語源としての観光の誤用の始まりでもあった。

観光は、易経(周易)の中の観卦の爻辞(こうじ=基本記号)の一つから生まれた。易経は占筮に用いられる書物であり、占師は政治の舞台で命がけの責任をも背負わされた(実際は結論を先に決め、それに合うよう占いをしていた)。易経の観卦の爻辞は六つ(六爻)あり、観光の語源は4番目の爻辞「六四 観国之光 利用賓于王」である。六四は大臣の位で九五の王者に一番接近しており「君の光を観るといわずに国の光を観るといのは、一国の風俗の美を見ることで、その君の徳は最もよく察知できるからである」と訳される(朝日文庫)。しかしながら、観光そのものは易経の「観」の卦辞にも爻辞にも存在しない。どのような経緯から「観国」ではなく「観光」が造語されたのかは上田卓爾氏の研究等を例外として殆ど存在しないにもかかわらず、観光の語源及びその解釈について多くの専門書等で記述されているのは原典ではなく孫引きをしているからである。

戦前、海軍省は艦船建造のためには米国の鋼材を大量に輸入する必要があり、外貨を必要としたとこ

ろから、インバウンド政策を積極的に展開する方針をとった。その結果財政的に余裕のある鉄道特別会計予算で国際観光局が設置された。鉄道省は国際観光局の命名について「輝かしい国の光をしめし賓客を優遇する」とした。当時における設立の思いの現れであるが、語源の意味とは異なったものとなってしまった。

国際観光局の命名理由が影響してか、(学文社)『新観光学概論』(ミネルバ書房)『観光学大辞典』(日本国際観光学会)等は受入国の側からみれば国威発揚の意味を有したものであると記述する。観光立国懇談会報告書(2003年)においても「「国の光を観る」という行為は「国の光を示す」という国事行為につながっていた」として誤用を継続している。

千葉には、いい温泉があるよ！
県がガイドブックを作成しPR

低迷気味の千葉観光を盛り上げようと、千葉県は県内89の温泉施設を紹介するガイドブック「千葉の温泉」を作り、高速道路のパーキングエリアなどに置いてPRを始めた。伊豆半島などに比べ、知名度がいま一つなので首都圏のお客を誘致しようというねらい。

内房、館山、南房総、鴨川など14のエリアに分けて紹介している。千葉県の温泉は、それぞれ泉質が違い、ゆっくりと“入り比べ”をしてもらえれば、その良さが分かるはず、と強調している。

イタリア通信 その5 ~国際音楽祭 MITO

国際音楽祭 MITO「音楽の9月」

ミラノとトリノ ライバル都市のパートナーシップ



9月1日から25日まで北イタリアのミラノとトリノを舞台に国際音楽祭MITO SettembreMusica(MITO音楽の9月)が開催された。MITOはミラノ(Milano)とトリノ(Torino)の頭文字から合成した言葉。

今年2年目の同音楽祭は、9月1日のミラノ・スカラ座でのオープニングを皮切りに9月25日にトリノで終了するまで、2都市でクラシック音楽から現代音楽、ジャズまで実に200以上のプログラムが展開された。国際パガニーニ大賞を受賞した日本人バイオリニスト庄司 紗矢香を招いての大コンサートも。会場も音楽ホールや劇場だけでなく、ミラノのドゥオーモ(大聖堂)や教会や広場、体育館などさまざまなスペースを活用して開かれた。中でも話題を集めたのはドゥオーモ屋上で開催された「鐘のコンサート」。(写真)



入場料無料のコンサートも多く、また高名な演奏家のコンサートでも低料金で入場できるなど市民が参加しやすい配慮もされているのでどの会場もほぼ満員だ。

ところで、ミラノとトリノという異色のパートナーシップが実現した背景には、トリノは2011年の「近代イタリア統一150年祭」、ミラノは「2015年EXPO」と、両市とも世紀のビッグイベントを控えていることがあげられる。ミラノとトリノ間は約140キロ。建設中の高速列車が完成すると1時間強の距離となる。

大イベントを成功させるために中途半端な「ライバル意識」を捨てて文化、芸術、観光などの面で協力し発信してシナジー効果をあげようという戦略なのだ。そしてMITOはその最初のプロジェクト。ミラノは中道右派、2006年の冬季オリンピックを成功させたトリノは中道左派と政治色は正対な二大都市の「共同戦略」に大きな注目が集まっている。

ミラノを仕事場にイタリア旅行情報サイト (www.japanitalytravel.com) を運営するほか、日伊間のビジネスや観光PRのコンサルタントやコーディネートをを行っている。この欄ではイタリア各地の観光や地域の話題を紹介してゆきたい。

雲の種類

雲は地面から上空約13kmまでの対流圏といわれる空気の層の中で発生します。気象台、測候所では天気、風、気温、降水量などのほか、雲も観測しています。雲の主な観測項目は雲量、雲形別の雲量、雲形、雲の高さなどです。雲形は10種類あり、名称は表のようになっています。

これからの澄み切った秋の空に見られる巻雲はすじ雲とも言われ、巻積雲はその形からうろこ雲やいわし雲とも称され、いずれも地面から5~13kmの上層に存在します。また、地面から2~7kmに見られる高積雲は、丸くひつじが並んでいるように見

	名称	高さ	俗称
上層	巻雲	5~13km位	すじ雲
	巻積雲		うろこ雲・いわし雲
	巻層雲		
中層	高積雲	2~7km位	ひつじ雲
	高層雲		
	乱層雲		
下層	層積雲	地面付近~2km位	
	層雲		
	積雲		なお、積雲、積乱雲の雲底は普通下層にあるが、雲頂は中、上層まで達していることが多い
	積乱雲		入道雲

えることから、ひつじ雲とも言われています。この雲が次第に厚みを増してくると天気が下り坂になる傾向にあります。下層で見られる積乱雲は、一般には入道雲と呼ばれ、落雷や豪雨など激しい気象現象をもたらす夏を代表する雲のひとつです。

ところで、雲である程度の天気が予想できます。上層に現われる巻層雲が、まるで太陽にカサをかけたように見えるときには翌日は雨が降る場合が多いようです。

また、山頂に笠雲が現われると、これも天気が悪くなる前兆といわれています。旅行先で景色を見たついでに空に浮かぶ雲を見て、天気を予想するのもいいでしょう。

日本気象協会 金野 雅之

会員名簿

(敬称略) (個人会員名簿は公開していません)

- 名誉顧問 : 松山善三(映画監督)
 理事長 : 松尾道彦(日本海事センター会長、前日本鉄道建設公団総裁)
 顧問 : 丹羽晟(前理事長、日本空港ビルデング顧問)
 副理事長 : 白澤照雄(JN協会事務局長)、岡村進(元小田急トラベル社長)、横山善太(株)JALUX特別顧問、大島慎子(筑波学院大学教授)、小竹直隆(元JTB専務)、須田寛(東海旅客鉄道相談役)、丸山博(元国土交通審議官)
 支部長 : 片山文彦(新宿)、魚住隆彰(北陸)、麓理沙(立教)、長尾亜夫(九州)、須田寛(中部)、岩田弘三(神戸)、坂本眞一(北海道)、梅原利之(四国)、丸森仲吾(東北)、大田哲哉(中国)

【団体会員】(2008年09月25日現在)

(株)朝日ネット、(株)アドバン、(株)アドルックス、荒井建設(株)、アンデス電気(株)、安藤建設(株)、イ-エムティー(株)、池田煖房工業(株)、(株)伊勢丹、富山県射水市、(株)井六園ワールド、岩田地崎建設(株)、(株)HKエアクリス、(株)エイブルシステムズ、NPO「江戸城再建を目指す会」、(株)大林組、隠岐の島町(島根県)、(株)奥村組、小田急建設(株)、小田急電鉄(株)、(株)小田急トラベル鹿島建設(株)、鹿島道路(株)東京支店、大阪国際空港ターミナル(株)、(株)大塚ハバルレジ、関西電力(株)、九城企業(株)、(株)九電工東京支店、九州電力(株)、九州旅客鉄道(株)、(株)熊谷組、(株)グリーンキャブ、群馬県、京浜急行電鉄(株)、(株)耕人舎、佐川アドバンス(株)、(株)サマンサタバサジャパンリミテッド、三協立山アルミ(株)、(株)三普旅行社、四国電力(株)、四国旅客鉄道(株)、清水建設(株)、(株)JAL-DFS、(株)JALUX、(株)JTB、消音技研(株)、新菱冷熱工業(株)、(株)センテナナショナル、常興興産ビーンズ(株)、住友電設(株)、(有)西洋館センター、静和堂竹内印刷(株)、(株)銭高組、全日本空輸(株)、ハ-キングプロ(株)、セントラルリングシステム(株)、(株)グアイ-コンサルタンツ、第一交通産業(株)、第一資材(株)、(株)大気社、大興物産(株)東京支店、大成建設(株)、大成サービス(株)、大成設備(株)大成ロテック(株)、大成ユーレック(株)、大鉄工業(株)北陸支店、大日産業(株)、(株)高商、高砂熱学工業(株)、(株)竹中工務店、(株)丹青社、中国電力(株)、中部電力(株)、ティ-シー-トレーディング(株)東京支店、電研工業(株)、東海旅客鉄道(株)、東急建設(株)、東京急行電鉄(株)、東京国立博物館、(財)東京観光財団、東京電力(株)、東光電気工事(株)、東芝エレベーター(株)、東北電力(株)、ト-コ-ネットソリューションズ(株)、戸田建設(株)、名古屋鉄道(株)、西日本鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、(株)西原衛生工業所、西松建設(株)、日墨ホテル投資(株)、日本オーチス・エレベーター(株)、(株)日本海コンサルタンツ、日本空港ビルデング(株)、(株)日本航空インターナショナル、(財)日本交通文化協会、(社)日本添乗サービス協会、(株)日本プラント建設、(財)日本ホテル教育センター、(株)ニューテック、ネスレ日本(株)、箱根町(神奈川県)、箱根建設(株)、東日本旅客鉄道(株)、(株)日立ビルシステム、(株)日立製作所、(株)ビッグウイング、広島電鉄(株)、福岡空港ビルディング(株)、(株)ハ-ロックジャパンリミテッド、(株)フィールドサービス、(株)フェイテリックホールディングス、富士機材(株)、藤長電気(株)、富士通(株)、フラネットワークス(株)、北海道旅客鉄道(株)、北海道電力(株)、北陸電力(株)、北海道空港(株)、(株)ホテル小田急、(株)ホテルトホリタン、前田建設工業(株)、(株)ホテルマックス、マイナホールディングス(株)、(株)まるまんフィオーレ、三井住友建設(株)東京建築支店、三菱電機(株)、(株)山武ビルシステムカンパニー、有楽土地(株)、(株)USEN、横浜貨物総合(株)、横浜ビル建材(株)、(株)ランゲ-ネット、菱重輸送機エンジニアリング(株)、りんかい日産建設(株)

特定非営利活動法人(NPO)

人と都市・観光の地球時代を、市民が支えます

JAPAN NOW
観光情報協会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-13
 小田急代々木ビル3F
 電話 03(5304)9500
 FAX 03(5304)5632
 E-mail info@japannow.org
 Home page http://www.japannow.org

発行人: 白澤照雄(JN協会事務局長)
 編集長: 加納 隆(JN協会理事)
 発行部数: 3000部 主な配布先: 会員、中央官庁、地方自治体、民間企業、マスコミなど

編集後記

JN協会は発足して8年目に入ったが、この間、札幌、仙台、東京、名古屋、神戸、福岡など大きな都市圏で、観光振興・都市再生・環境保全のフォーラムを開いた。これら都市圏では都心部が郊外よりも気温の高い「都市気候」という現象が強まっているのを感じた。

その要因は人口が多く経済活動も活発なうえ、車などのほかビルや地下街から出る「人工熱汚染」、つまりヒートアイランド現象が高まっているからではないか。7月の先進国首脳会議では地球温暖化の原因である二酸化炭素の抑制に各国が協力することで一致したが、これだけでは温暖化は防げない。アジアや欧米大陸には、人口100万、500万、1000万の大都市圏が多く、日本と同じように都市は人工熱で汚染されている。地球の都市化時代(エキュメノポリス)にどう対応するのか、新しい視点から考えてみよう。NPOからの小さな声を世界に発信したい。(白澤)